静岡県の化石

静岡県から発見された脊椎動物化石

横山謙二

静岡県内では、脊椎動物化石の代表ともいえる恐竜化石の発見はまだありませんが、県内各地からは、さまざまな貴重な化石が発見されています。これまでに県内から発見された脊椎動物化石は、新生代新成紀(新第三紀)以降の新しい時代の地層からのものばかりで、旧成紀(古第三紀)以前からの発見はありません。それは、県内の旧成紀以前の地層が、深い海底に堆積した地層が多く、化石をほとんど含まないからだと考えられます。

更新世前期以前の脊椎動物化石

更新世前期以前に堆積した地層は、ほとんど が海成層なので、その地層の中に含まれる化石 は海生生物が多く、やはり脊椎動物化石も、魚 類やクジラなどの海生脊椎動物がほとんどで す。海生脊椎動物化石が発見された主な地層は、 伊豆半島に分布する白浜層群(中新世〜鮮新世)、 掛川市に分布する掛川層群(鮮新世〜更新世前 期)、富士川下流域に分布する庵原層群(更新世 前期)などの地層があります。

白浜層群からは、これまでにサメやアシカ科の歯化石が発見されています。これらの化石を多く含む地層として、中伊豆に分布する下白岩層が知られています。下白岩層は、生物の死骸を起源とする砂岩と凝灰質砂岩を主体とし、レビドシクリナという大型有孔虫を多く含んでいます。おそらく、この層は、堆積物の供給の少ない浅海域に堆積したものだと思われます。この層から発見されたサメの歯化石の中には、アオザメなどの遠洋性のサメや絶滅した巨大ザメのメガロドンも含まれています。

掛川層群は、県内で最も多く海生脊椎動物化石が発見されているところです。特に、約200万年前に浅海で堆積した砂層や泥層からなる大日層には、貝類化石とともに、魚類の歯・耳石、クジラやカイギュウなどの哺乳類の骨の一部が産出しています。また、沿岸に近いところに堆積した砂層や礫層からは、これまでにシカの角の一部、イノシシの歯などの陸生哺乳類や、ミズナギドリの仲間の骨などの鳥類の化石も産出

したことがあります。魚類の歯化石は、サメ・エイ類の歯化石が多く、約20種ほどが産出しています。このサメ・エイ類の中には、人食いザメで知られるホホジロザメ、イタチザメなどの大型のサメや、沿岸域に生息し貝類を食べるネコザメなどの小型のサメも含まれています。これらの産したサメ・エイ類の仲間は、現在も静岡県近海で生息する種もいますが、亜熱帯~熱帯域で生息する種も多く含まれます。このことから大日層が堆積した当時の掛川周辺の海域が現在より、暖かったことがわかります。

庵原層群は、約100万年前~40万年前ごろに堆積した礫や火山岩からなる地層です。この庵原層群には、湖に堆積した泥層が挟まれ、この泥層からは魚類化石が多く見つかっています。他の産出地から見つかる魚類化石は、歯や鱗、骨の一部など、バラバラになって見つかることが多いのですが、この層から産出する魚類化石は、全身骨格がほとんどつながった状態で、さらに鰭条や鱗まで保存されていることが多くあります。このような保存状態の良い魚類化石が多産するのは、世界でも限られた地域のみでしかありません。

また庵原層群には、河川や河口域に堆積した 礫層や泥層があり、この中からは、絶滅したシ カの仲間のカズサジカ、象の仲間のトウヨウゾ ウなどの陸上の哺乳類化石も発見されています。

更新世後期の脊椎動物化石

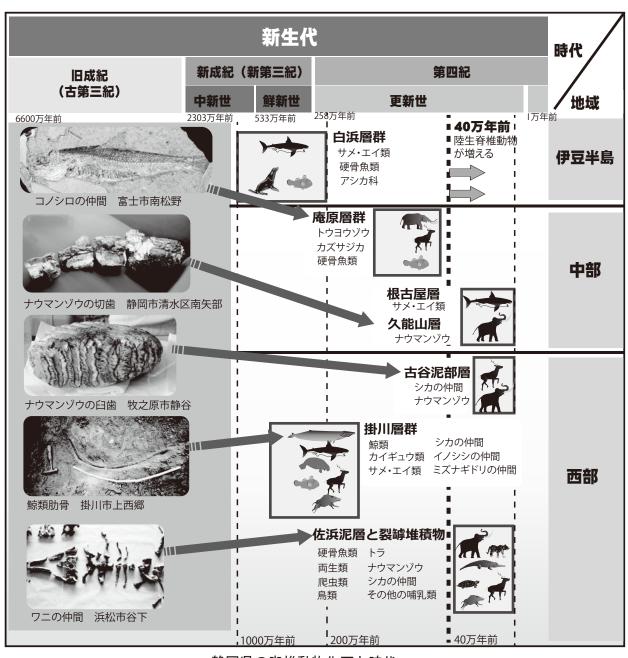
県内の陸生脊椎動物化石は、第四紀更新世以前の産出数はたいへん少ないのですが、更新世後期になると産出数が急速に増加します。それは、沿岸地域や河川などに堆積した地層が多くなるからだと考えられます。特に多く産出するのが、ナウマンゾウです。ナウマンゾウは日本列島のほぼ全域(約200ヶ所)から1000点以上もの骨格化石が発見され、県内でも模式標本が産出した浜松市佐浜の浜松層佐浜泥部層とその北部の石灰岩地帯内の裂罅堆積物(れっかたいせきぶつ)を合した19ヶ所、静岡市有度丘陵に分布する久能山層で6ヶ所、牧之原市

に分布する古谷泥部層では3ヶ所から発見されています。この産出数の多さから、かつてナウマンゾウが、日本で大繁栄していたことが推察できます。

また、浜名湖北方の石灰岩地帯内の裂罅堆積物からは、ナウマンゾウの他にも、ニホンザル、ニホンオオカミ、トラ、ニホンジカ、オオツノジカ、ヒグマ、ワニなどの脊椎動物が産出しています。このころの日本列島には、日本に生息する動物たちの直接の祖先たちが南方ルートあるいは北方ルートを経て大陸から渡来し、南方

系・北方系が混ざった動物相を形成していたようです。今、日本で生存している脊椎動物はこの時代の生き残りと思われます。

このように県内各地には、脊椎動物化石を含む地層が分布し、これまで数多くの化石が発見されています。まだ恐竜化石は、発見されていませんが、県西部の浜松市北区伊平には、恐竜のいた時代に汽水~浅海域に堆積した地層があり、植物化石などが見つかっています。近い将来、恐竜の化石も発見されるかもしれません。



静岡県の脊椎動物化石と時代